

主な内容

- 山口市の戦後50年⑤
- 山口観光コンベンション協会設立
- 平成6年度財政報告

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/森重印刷株式会社

市民交通災害共済受付中

毎月15日は、お年寄りの交通安全日
思いやりみんなですすめる交通安全
交通事故状況《7月》

- 発生件数 63 (累計 427 / 前年比+30)
- 死亡者 1 (累計 5 / 前年比 0)
- 負傷者 73 (累計 456 / 前年比+19)



西の京 夏が練り歩く

山口の夏の風物詩「山口祇園祭」が7月20日から27日の8日間、盛大に行われました。初日の20日は、降りしきる雨の中「鷲の舞」が奉納され、いよいよ約500人の裸坊による御神幸。ずぶ濡れになりながらも、八坂神社から御旅所までの約2kmをみこしを担いで練り歩く彼らの熱気で、今年の山口の夏が幕をあげました。

8/15
1995年No.1154

■市報やまぐちは再生紙を使用しています。(上段は、平成7年8月1日現在、下段は今年1月1日との比較)

♂	135,235人	♂	64,855人	♀	70,380人	↑	50,786
	+847人		+303人		+544人		+512

山口市の戦後50年

さつまいもに想う

植田民子(62) 萩町

昭和十九年の晩秋の頃のことです。学校から帰ると、母が横になり頭の方が真っ赤で、お医者さんが何か手当をしておられる様子でした。祖母が「ちようどよいところに帰ってきてくれた。牛があらびて車力が道から落ち、

さつまいもごとひっくり返った。お母さんが頭を怪我したので早く鷹の子(鑄銭司)のバアちゃんを呼びに行くよう」言いました。私は胸がドキドキするのをこらえて二歳の妹をおんぶして小走りにひと山向こうの母の里に行きました。里の家が見えると涙が出て仕方がありませんでした。その頃は、さつまいもも供出です。今日は何十貫目出せ



—写真提供 田辺吉亮さん(中市)—

という通知があり、カマスに入れて牛に車を引かせ、祖父が手綱を取り母が車力を引くという具合で米も麦も出荷していました。子供も、いも掘りの手伝いをしたものです。熊手で打ち起こし掘るのは、手間がつくので、牛馬で墾と

出たいもを拾うのが子供の役目でした。その晩は母の側で寝ました。夜九時過ぎ、靴の音がするの

で、皆がハッとして障子を開けたら「ただ今」と父の声だし、丁度良い所に帰ってきたと皆が嬉し涙を出し笑顔が出ました。「休みを貰って帰った。明日夕方までにはまた笠戸島の海軍基地に戻らなければならぬ」と言うのを聞いて、祖母は「誰も知らせもしないのに、黒山八幡様にお百度踏みをしたかいがあった」と喜んでいました。

翌日、任地に戻る父に祖母は白米を炊きオムスビを作りお土産に持たせました。私は妹をオンプして弟の手を引き父を見送りにいきました。

駅まで行くつもりでしたが父が「早く帰って手伝いをするよう頼む」と言います。「南方に行くので家族の顔を見に帰ったのでは」と聞きましたから「四十二歳になって招集がかかったので内地勤務だから

と言いましたので安心してました。」さようなら、また帰ってね。弟も「早く帰って」と言

いました。別れたものの父の後姿を見ては手を振り、父も後を振り返り手を振り私は泣きだしました。でも小さくても男の子です「姉ちゃん、泣くと戦争に負ける、泣くといけん」と言って私をなだめてくれました。これには感心して日本男子だなあと思い頭をなで手を引いて家路につきました。母の傷も日一日とよくなり

ました。あの戦争で兵隊さんが死なれ、負傷されるだけでなく銃後の人もいろいろな犠牲になりました。今思うと母、祖父も良くも農業をしたものだと思います。私はさつまいもを毎年作っていますが、あの苦しかった頃の姿を思い出します。今の平和を大切に

して後世に残したく平和の尊さをおみしめて私です。

占領下時代から・・・
公衆衛生事業はじまりの頃
藤本金土(80) 小鱈

昭和二十六年八月二日、設立発起人代表重富卓氏外六名、株式会社山口公衆衛生協会設立総会を食糧公団会議室に於いて行った。

ふん尿は昔から肥料として使われていたが、戦後も農村

から、朝早く馬車、大八車で行列をなして汲み取りに来ていたものである。

占領下時代、山口市でも進駐軍が元山口歩兵四十二連隊内に駐留していたが、衛生関係には特にうるさく、「あれは何を運んでいるのか」と調査の結果、まったく不衛生なことだと山口市に改善方の要請があった。

昭和二十六年といえは、農村にも金肥(化学肥料など)が出廻り、汲み取りにも来なくなった頃で、加えて、山口市は戦災都市でないため、徳山、広島などからの移住も多く、農家とのコネのない新市民はその処置に困っていた。

そんな折りに、河川へのし尿の投棄が進駐軍に見つかる

ところとなり、ついに市長に對して強制命令が出された。汲取自動車のない頃でもあり、特殊な労務のため賃金も高く、終戦直後の山口市の財政では到底まかない得ない状態。時の山下太郎市長は「何とか対策はないものか」と思案に暮れ何人かの専門家に「し尿の汲み取りをしてくれる者はいないか」と相談があり、冒頭の協会設立総会となったのである。

当初は山口市が一荷につき十五円を補助し、し尿収集料金は一荷二十五円であった。さて会社を設立して仕事に入

つて見るとなかなか簡単ではない。その第一は作業人夫がない。自動三輪車と馬車で作業を試みたが経営にも行きづまるありさま。また、ふん尿を汲み取っても、処理場がないため捨てる場所がない。開拓団の山林や開拓団地、自分の田畑を捨て場にしたり、それは大変であった。昭和三十年頃より、山口市は補助金十五円を打切り、し尿の貯留槽に着手した。その一号が開田川土手に工事費九万円で作られた。第二槽天花、第三槽朝倉と設置したがこのような槽ではとても間に合ったものではなかった。その後、作業量は増え続け、一社では将来問題もあることから、新しい業者も設立された。

時は移り、現在、公共下水道や浄化槽が普及し、し尿の処理も大きく変わってきた。今年も、様々な分野で戦後五十年が振り返られているが、戦後まもなく、伝染病も多く発生し環境衛生の整備が急務であった頃から、私たちが懸命に取り組んできたことを思い出している。

生きた証としての手記

伊藤守(64) 佐山

・雨季のインパール作戦、濡れた服の着替えもなし、薬もなし、塩がないので、ただ



返し定規による田植え。昭和40年代からは急速に機械化が進んだ

木の葉や草をゆでて食べることで空腹をやわらげた。便はたれ流しのまま。それでも天皇陛下から下賜された銃を抱いて樹にすがって死んでいる兵士。悪臭を放ちくずれた肉体をはい回るウジムシ(飢餓と病魔でボロボロ死んでいった兵士)

役場の方はしばらく無言の後、黙って「戦死の内報」を差し出されました。丁度風呂に入っていた母は、私の悲鳴を聞いて動転し、風呂から上がろうと足を湯ぶちにかけてながら、どうしても足がかか



らず、何度も何度も湯の中で足踏みしてました。その後、母は床に寝込んだきりで緑に食事も摂らない日が続きました。(「終戦後の兄の戦死」) 戦中の昭和を生きた一つの証としてこれだけは書き残しておきたいとの熱い思いの手記が九十八編あつまりました。

これらを第一章「海ゆけば山ゆけば」、第二章「銃後も戦場・総力戦」、第三章「無言の帰宅―悲しみは五十年後の今も」、第四章「戦争を知らない子供たち―祖父母からの聞き書き」に編纂しました。

地区民の総力を結集した「佐山地区民の戦争記録―語り継ぐ戦中・戦後」は二十一世紀への「平和のメッセ―ジ」でもあります。

「佐山地区民の戦争記録」(B5判・三百頁・頒価二千二百円)

問合せは左記のいずれかに

- ・佐山公民館内佐山地区史研究会 (☎89-3525)
- ・上野格 (会長宅☎89-3036)
- ・伊藤守 (編集委員長宅 ☎89-3256)

これから学ばべきこと

内山久美子(35) 朝倉町

終戦の時、父は予科練に志願して一年目の十六歳でした。占領されているアジアの国々を解放するのだと教えられ、父は命を懸けて戦いました。

まだ子供だった母からは、戦争の話聞いたことはありません。

私自身は何も知りません。何も教わらなかったからです。



八月一日、佐山地区では、地区出身の英霊に感謝し不朽に顕彰するとともに、平和の存続と不戦の決議を新たにする「平和の礎」碑の除幕が行われました。碑建設実行委員会は「たとえ野の草花でもいいから花を絶やさないように守っていきます。碑と対面すると、石はきっと何かを語りかけてくれると思います」と話されています。

マスコミによって「侵略」や「虐待」の歴史が数多く報道されていますが、真実は誰にもわかりません。

戦争を始めた人、戦うことを命じた人、命令された人、そして死んでいった人、生き残った人。それぞれが本当は何をどう思っていたのか、すべてを知っている人はいません。真実は誰にもわかりません。

「アジア解放」か「侵略戦争」かよく問題になります。どちらかに決定するのは不可能ではないでしょうか。侵略しようとした人がいるかもしれないし、解放を信じた人もいます。

何より確かなのは、事実を知っている人はほとんどいなくなり、残される私たちが「何も知らない」ということです。

私は何も教わりませんし

たが、これからの子供たちは教わるのでしょうか。誰が教えるのでしょうか。正しく教えることのできる人がいるのでしょうか。

片側だけから見た事実では事実とはいえません。時間とともにだんだんわかりにくくなる事実を、掘り起こしては言い争っている間に、助けが必要な人はどんどん歳をとって亡くなっていきます。

私たちがこれから学ばなければならぬのは「誰が悪かったのか」ではなく「戦争をするのが悪い」ということ。「誰が誰に謝るべきか」ではなく「誰にどれだけ手を差しのべられるか」です。

私たちができる最良のことは何でしょうか。急がなくてはならないことが後回しになっているようで、イライラしながら戦後五十年目の日本の政治を見つめています。

市報 やまぐち

（昭和46年4月1日号までは「山口市報」）

にみる

山口市の戦後

（昭和41年～55年）



市民待望、文化の殿堂山口市市民会館の建設が進む（46年）

山口市の戦後の主な出来事 （昭和41年～55年）

昭和41年

- 3月・仁保大富小学校廃校
- ・市内12単位農協合併、山口市農協発足。全国有数のマンモス農協に
- 9月・第1回山口市老人福祉大会開催
- 10月・川西簡易水道完成、嘉川・佐山に給水
- ・山口大学農学部が平川新学舎に移転

昭和42年

- 1月・平川地区一部に「大字吉田」できる
- 3月・経営合理化で市営バスにワンマンバス運行開始
- 9月・防府の山火事延焼し小鯖地区に及ぶ
- 10月・市民相談室開設
- ・県立博物館で維新百年全国展「近代国家の歩み」を開催
- 11月・市民交通災害共済制度発足

昭和43年

- 1月・市初の消費生活モニターが誕生
- 4月・市老人福祉センターと児童館完成
- 5月・白石地区の新住居表示実施
- 9月・県農業試験場改築落成
- 10月・明治維新百年記念式典を県自治会館で挙行

昭和44年

- 3月・山口文化協会発足
- 5月・仁保に山口衛星通信所開所。7月にはアポロ2号月面着陸で電波を中継
- 8月・一の坂川にホタルの幼虫を初めて放流

昭和45年

- 2月・米の生産調整が始まり、市の減反率が7.5%と決まった
- 4月・テレビ山口が本放送を開始
- ・山口駅通り改修工事落成
- 5月・大殿地区24町の新住居表示実施
- 7月・山口・防府地区広域市町村圏として国指定
- 8月・葵二丁目に県消費生活センター開所
- 11月・「山口市開発基本構想」を発表、目標を昭和60年に置く

昭和46年

- 4月・救急車のサイレンが「ピーポー」に
- 7月・新佐波山トンネル開通
- 8月・山口市市民会館・中央公民館完工
- 9月・山口市民憲章制定

職員やBBS会員（少年問題に取り組む青年による奉仕活動団体）の指導で放課後から十七時まで予習・復習の勉強

・カギっこ学級開始
留守家庭児童対策として、福祉センターで「カギっこ学級」が開設されました。

・農作業安全運動月間
農村から若者たちの姿が消えて、いわゆる3ちゃん農業（おじいちゃん・おばあちゃん・おかあちゃん）になりました。

・市民会館いよいよ完成
完工式は八月二十五日、開館記念の「こけらおとし」の行事は、九月六日の京都市交響楽団演奏会をかきわりに、「連想ゲーム」、「家族揃って歌合戦」、「全日本歌謡選手権」のテレビ公開番組や市民各界の出演行事などで一か月にわたり繰りひろげられます。

・二島地区
心をつなぐ48分の1運動
一日二十四時間のうち48分の1、すなわち三十分は自分や社会を見つめ、地域社会のことに心を傾けようではないかと始まったもの。

・四十一年九月号
のどかな牛馬に代って、耕うん機、自動車、トラクターなどで農作業は大変能率的になっていきますが、農作業の事故も飛躍的に増加し、十月十九日からの一か月を「農作業安全運動月間」として呼びかけることになりました。

・四十一年十一月号
もう一本の柱は「おとうさんの会」、百人をこえる会員が地域の男の集団としては全国的にも珍しいほどのまとまりと強いきずで結ばれています。

や映画会などを行います。
（四十三年六月号）



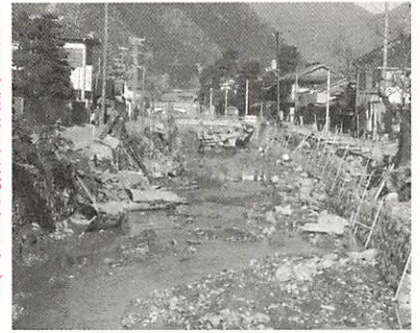
維新百年記念講演会に岡潔先生



四十一年の大干ばつ。二島では雨こい祈願の「干把だき」

四十年当時、市道の舗装の八割はコルタル舗装だった。





▶ホタル護岸工法が取り入れられた一の坂川河川工事(四十七年)

◀五十一年の山口デレ。「あわおどり」で盛りあがった



▶中村梅之助さん、浅丘ルリ子さんが「花神」ロケで山口入り

・**ごみ処理ただいま苦戦中**
ごみと尿の処理は当面する市政の最大の課題です。ごみ焼却場の処理能力は三十トン(一日八時間)あったのですが、今は二十トン程度。古くなった風呂が沸きにくいと同じことです。ここに三十六トンのごみが持ち込まれパンク寸前です。使い捨て時代を反映しているのが現在のごみ問題です。

見学にみえた婦人会長さんたちも「燃えるものはもともと自分で燃やすようにしなきゃあ」「ちゅうかい物も、埋めるなど自家処理を考えなきゃね」と。

新焼却場、し尿処理場建設に全力をあげていますが、それまでが実際大変です。(四十七年一月号)

・**公共下水道事業計画**
まとまる

旅の人がいました。「山口の町は上を向いて歩く町ーな

ぜってー・・空は青く空気はおいしい。でも足元の下水道溝が汚いー」

市のもっとも大事業である公共下水道の事業計画が決まりました。第一期事業は四十八年度に着手、六十年までに八十億九千万円かけて、市の中心部を整備するという大事業です。(四十八年二月号)

・**セイタカアワダチソウを刈りましょう**

急激に繁殖し、美しい日本の野の草を駆逐する帰化植物、あき地や川土手にぐんぐん背を伸ばしています。花粉はなどを刺激し喘息などの原因となります。(四十八年七月号)

・**胸囲が落ちる**
最近の子供は足が長くなり、あるいは肥満児が増えて、胸囲が身長や体重に比例して伸びません。四十八年と四十五年の小学六年生の胸囲の比較では、十七校のうち十校までが落ちています。

最近の子供の生活の姿が象徴されているといえないでしょうか。勉強、テレビ、体を動かして遊ばない、手伝わない、がまんしない、プラブラ、過保護・・

・**石油危機**
市消費生活問題懇話会を設置
トイレットペーパー、洗剤、砂糖などの生活物資が連鎖的に不足と値上げをし、住民の動搖をきたしました。

市では、県や商工会議所、スーパー、卸小売業者に物資確保対策を要望する一方、消費モニター、婦人会、生活学校等と協議を続けて参りました。現在一部の品目を除いて状況は回復しつつありますが、懇話会を設置し今後の経済状況に対処したいと思っております。(四十八年十二月号)

・**悲しい記録ー三月末現在交通事故死全国トップ**
警察庁の調査による今年一

月から三月までの全国人口十万人以上の都市での交通事故による死者率(人口十万人に対し)で山口市がトップの十一・八人。しかも二位のいわき市の六・七人を大きく引き離しています。

・**家庭の味を賄い続け**
後河原錦小路の大島さんご夫婦は賄い経営三十年。賄いとは食事などを調え供すること、学生の町山口に育った独特の方式。会社退職後、下宿学生をおいて食事を出していたら「ぼくもぼくも」と数が増え賄所を建てた。現在、朝食百八十円、昼食(弁当)二百円、夕食三百二十円、「家庭の味と値段の安さが賄いの特色」と大島さん。高校生、職人さん、県庁マンなど約三

・**国宝五重塔ふき替え工事**
五重塔の屋根は松皮ぶきとあって、ヒノキの皮を一枚一枚重ねてふくもの。二十七年にふいたものが傷んだため二十八年前のふき替えとなりました。工事は松皮ぶき選定保存技術者佐々木嘉彦さん。

・**美田に生まれ変わる**
山間のたな田
農地を整備し近代化を進めるため仁保上郷では、市内で一番早く五十二年度から農業基盤整備事業が始まりました。五十七年度までに約三十八ヘクタールの水田を大型農業機械が導入出来るように整備し、農道・用排水路をつけます。(五十五年十二月号)

昭和47年

- 4月・市民会館前の9号国道に地下道完成
- 5月・湯田の中原中也の家が火災
- 6月・小郡町に合併申入れ
 - ・糸米に山口警察署新庁舎完成
- 7月・集中豪雨、山口市戦後最大の水害
- 11月・国道262号線全線開通

昭和48年

- 1月・山口大学の平川への統合移転終了
- 3月・周防鑄司跡、国の史跡に指定
- 9月・山口線にS L サヨナラ列車運転
- 11月・市の花キク、市の木イチョウ、市の花木キンモクセイと決定
 - ・県の維新百年記念公園開園

昭和49年

- 1月・公共下水道1号汚水管建設工事が今井町ではじまる
- 7月・県道新鱒石橋・山口大学通り開通
- 8月・山口衛生施設組合清掃工場が大内に完成
- 9月・宮野江良に原爆死没者の碑完成
- 10月・市内定期観光バス運行開始

昭和50年

- 2月・国道2号線小郡バイパス完成
- 3月・山陽新幹線博多まで開通。山口線に特急運行。中国自動車道山口・小郡間開通。交通新時代を迎える
- 4月・4年制昇格の山口女子大学で最初の入学式
- 5月・米屋町・道場門前結ぶアーケード完成
 - ・まつくい虫空中防除はじまる
- 7月・市長に堀泰夫氏当選
- 9月・市庁舎改築・消防庁舎新築移転開庁

昭和51年

- 3月・市営中央駐車場開設
- 7月・道場門前街カラー舗装完成
 - ・山口市自治会連合会発足
- 10月・NHK大河ドラマ「花神」市内ロケ

昭和52年

- 5月・市営中央駐車場に日曜朝市開催
- 12月・二島幸崎干拓の農地完成

昭和53年

- 4月・国鉄山口駅舎改築落成
- 8月・龍福寺境内の大内館跡発掘調査で金銀色の瓦出土

昭和54年

- 4月・山口・小郡地域広域水道企業団発足
 - ・市制施行50周年記念式典挙行
- 7月・榎野川沿いに自転車専用道路完成
- 8月・S L やまぐち山口線で営業運転開始
 - ・大内の市民運動広場に市民プール完成

昭和55年

- 2月・山口市とスペイン・パンプローナ市との姉妹都市盟約成立
- 7月・パークロード山口駅県庁線完成

行ってみたい また来たい やまぐち市

山口観光コンベンション協会設立

山口市観光協会が、財団法人山口観光コンベンション協会に生まれ変わりました。

大きな大会や会議などを誘致するための業務が加わり、たくさんのお客さんに訪れていただけるよう、より強力に事業が展開されます。

七月二十日、県知事から許可を受け、財団法人山口観光コンベンション協会がスタートしました。
二十八日には、山口市観光協会の解散総会の後、財団法人山口観光コンベンション協会の発足式を開催。田原正美理事長は「従来の姿勢から脱皮し、より積極的な観光事業を目指して努力したい」とあいさつをされました。

新しい協会は、観光を促進するこれまでの事業に加え、大会や会議を誘致するコンベンション事業に着手します。
永久隼見専務理事のお話では、「まず、どんな大会があり、どこに誘致を働きかけたらよいかをよく調査しなければなりません。日本コンGRESS・コンベンション・ビューローという全国的な組織に加盟し



(田原正美理事長)

て、より多くの知識と情報を得ることにしています」と効率よく事業を進めるための調査、研究を重視されています。
また、観光協会の財団法人化は県内で初めて。信用度の高まりと協会独自の運営が期待されます。
賛助会員数は現在三百二十四。基本となる財産は賛助会員や市などから寄せられた三

千八百万円です。
事業を行うための収入予算は、基本財産運用収入二十万円、会費収入五百四十二万円、市の補助金収入二千百万円など合わせて計二千九百五十六万一千円です。

平成七年度の事業計画

① 紹介、宣伝事業

観光宣伝隊の派遣に協力／観光展、物産展に参加／協会だよりを発行／新聞、テレビなどによる宣伝／ポスター、ハンドブックなどによる宣伝／ミス山口の活用による宣伝／観光案内所による案内事業の充実

② 観光整備事業

観光案内板などの新設、維持／自動説明機の維持管理

③ ガイド事業

ボランティアガイドの実施／市内定期観光バス運行に協力／FM観光ガイドシステムの利用増進

④ コンベンション事業

調査および企画／広報宣伝の推進／各種イベントの誘致／主催者の支援

⑤ 郷土芸能の育成

郷土芸能祭の開催／郷土芸能の育成

協会の電話・FAX番号が八月二十一日から変更になります。

【電話】

山口観光コンベンション協会
(旧山口市観光協会)
22-8231
↓33-0088

山口市観光案内所
24-6949
↓33-0090

【FAX】

山口観光コンベンション協会
(旧山口市観光協会)
22-8269
↓33-0089

山口テクノパーク

関東ギャングネイル

トラス(株)進出

七月二十五日、関東ギャングネイルトラス株式会社(竹村義弘代表取締役社長/本社東京都)と市は、山口工場の山口テクノパークへの進出協定について、県の立ち会いのもと市内のホテルで調印を行いました。
同社は、木造住宅用の資材を供給する会社で、「ギャングネイルトラスシステム」とい



関東ギャングネイルトラス株式会社 進出協定調印式

う工法により小屋組などを作っています。(ギャング集団・集まり/ネイル釘/トラス/小屋組・屋根の重みをささえる骨組み)

山口工場の操業は、先に進出しているエス・バイ・エル(株)の建物の一部を借り、八月から開始されます。
投資額は約八千万円、従業員数十一人、生産予定額は初年度(九か月)約五千万円。

山口テクノパークに進出した企業は、今回で二十三社目です。

王子ゴム化成(株)

山口工場完成

山口テクノパークに建設を進めていた王子ゴム化成株式会社(中村勇代表取締役社長/本社防府市勝間)の山口工場が、七月二十一日に竣工しました。
この工場では、水膨潤性シ



完成した王子ゴム化成(株)山口工場

ール材「アクアケルシラー」(水を吸って膨らむ止水用のゴム)、下水道管に用いるゴム輪各種スポンジなどの製品が作られます。
敷地面積は三万七千二百四十二平方メートル、建物は鉄骨造平屋建て三千三百五十八平方メートル。投資額は約七億円、従業員数は当初四十八年間の生産額は当初約十億円です。

山口テクノパークでは十三番目の操業となります。
※「山口テクノパーク」は、地域振興整備公団・山口県・山口市・宇部市が一体となり、山口市大字佐山と宇部市大字中山にまたがる丘陵地帯に整備した産業団地です。
市では、働く場の創出と地域経済の活性化のため、各産業団地を整備し、企業の誘致を進めています。

中也の足跡を訪ねて

山口市営バスで行く
金沢・京都・文学の旅

- 日時・行程 9月24日(日)21:00 山口発(バス車中泊)、25日(月)7:30金沢着ー市内探訪ー(山代温泉泊)、26日(火)8:00発ー12:00京都着ー市内探訪ー(京都泊)、27日(水)午前中市内探訪ー13:00京都発ー20:30山口着
- 講師 福田百合子・中原中也記念館館長
- 募集人員 35人(応募者多数の場合は、抽選にします)
- 参加費 1人42,000円
- 申し込み方法 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、8月31日(木)までに、中原中也記念館(湯田温泉一丁目11-21 ☎32-6430)へ

※なるべく2名以上のグループでお申し込みください。グループで申し込みの場合は1枚のはがきに連記してください。

「金沢」

中也は幼少の一時期(大正初期)を父の赴任に伴って金沢で過ごし、その頃のエピソードにまつわる所や、居住地を訪れます。また、金沢は、室生犀星、泉鏡花、徳田秋声など、著名な文豪を輩出した町でもあります。これらのゆかりの地や、石川近代文学館などを巡ります。

「京都」

中也は15歳で、立命館中学校に転校し、その後2年間京都で過ごしますが、長谷川泰子、富永太郎、「ダイスト新吉の詩」など、中也の生涯に大きな影響を与えた人物との出会いがあり、詩人の地ともなったと、発の地ともなったと、思い出の地をはじめ、市内の文化施設などを訪ねます。

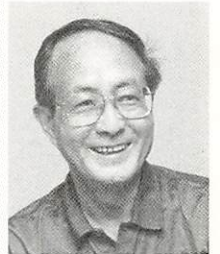
山口市国際交流事業締結記念
山口放送開局40周年記念
文藝春秋講演会

高知市生まれ。1979年「一絃の琴」で第80回直木賞受賞。「鬼龍院花子の生涯」、「序の舞」、「蔵」など著書多数。



宮尾登美子

千葉県市川市生まれ。「ブリューゲルの旅」で、第24回エッセイストクラブ賞受賞。「清貧の思想」はベストセラーになる。



中野孝次

- ☆申し込み先・問い合わせ 山口市国際交流室(亀山町)
- ☆締め切り 十月五日(木)まで(定員になり次第締め切らせていただきます)
- ☆申し込み先へ 次の申し込み方法
- 「往復はがき」に住所、氏名、電話番号、聴講希望人数(二名まで可)を記入し、

- ☆入場整理券の入手方法 はさまさまに生きる
- 中野孝次氏 「人生のこみち」
- ☆会場 市民会館大ホール
- ☆講師・演題 宮尾登美子氏 「いま、女はさまさまに生きる」

スペインパンブローナ市姉妹都市締結十五周年、中国済南市友好都市締結十周年を記念して、作家による講演会を開催します。ぜひご聴講ください。

特別展 戦争とくらし
50年前をふりかえって

- 日時 八月八日(火)〜九月十七日(日) 午前九時〜午後五時(入館は午後四時三十分まで、月曜休館)
- 場所 市歴史民俗資料館

今年、第二次世界大戦終戦五十年です。

戦後五十年、昭和二十年代に生活された方々には、当時の思い起こしていただき、戦争を知らない世代の人々には当時の生活を認識し、現在の生活を確かめていただきたいと思えます。

同和問題を考える



私たちは、現在に生きる者として、同和問題について、これを厳粛に受け止め、「われ関せず」という考えを改めなければなりません。関係者による今日までの努力により、

同和問題を正しく理解するために

誤りに気づくことこそが自分自身を救い、差別されている人をも救うのだ (姫井 伊介)

市民講座(基礎講座)を湯田公民館で開講しました。当初、それぞれ五十名の参加者を予定しておりましたが、昼夜計百四十八名の方が参加されました。

このように、自分から学習し、確かめ、科学的な認識を確立することは、同和問題の本質及び現在の同和对策の主旨を正しく理解することになり、

ながらの迷信・非合理的な偏見が根強く残っているからです。

県の調査によりますと、昭和十五年は「親族・仲間から聞いた六十八%」、「教

同和問題を考える



育・啓発による十三%」ですが、平成二年では「親族・仲間から聞いた五十五%」、「教育・啓発による三十二%」と「教育・啓発」によって、同和問題を知った人が増えています。市では、この「教育・啓発」の場として、六月十九日(昼の部)、二十九・三十日(夜の部) 社会同和教育



西京スタジアム

平成6年度 財政公表

みなさんが納められた税金などがどのように使われたかを理解していただくため、市では年に三回、財政状況の公表を行っています。今回は、平成6年度の決算見込みがまとまりましたのでお知らせします。

一 一般会計

平成6年度は、第四次山口市総合計画に基づき、中核都市づくり・住みよい生活環境づくりを着実に進めるため、各種の施策を行いました。

その結果、決算では、歳入が三百八十一億八千三百五十九万円、歳出が三百七十二億八千二百七十三万円、差し引き九億八千六百円の黒字となる見込みです。この差し引き額から翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支では、八億七千二百七十七万円の黒字となる見込みです。

歳入では、農業構造改善事業や林業構造改善事業の増加にともない、県支出金が増加しています。その反面、減税や景気の低迷により市税が減少、基金の取り崩しが少なかったため、繰入金が大幅に減っています。そのほか、財産収入の減少、繰越金の減少などにより、前年度の決算額に比べ、二・七％の減少となっています。

歳出

歳出では、勤労者総合福祉センター整備のため、労働費が大幅に増え、農業構造改善事業や林業構造改善事業の増加のため、農林水産業費が増えています。その反面、市庁舎増築の終了のため、総務費

一般会計 歳入歳出決算見込額

区 分	平成5年度決算額	平成6年度決算見込額	伸率(%)
市 区	169億7,115万円	163億7,216万円	-3.5
地方譲与税金	9億7,980万円	9億9,739万円	1.8
地方交付金	4億5,801万円	6億5,672万円	43.4
ゴルフ場利用税	6,050万円	6,019万円	-0.5
特別地方消費税	3,919万円	4,003万円	2.1
自動車取得税	3億1,888万円	3億4,867万円	9.3
国有提供施設等助成	2,280万円	2,280万円	0.0
地方交付税金	56億7,020万円	53億9,634万円	-4.8
交通安全対策特別交付金	2,595万円	2,571万円	-0.9
分担金および手数料	4億5,893万円	5億554万円	10.2
使用料	4億3,237万円	4億9,409万円	14.3
国庫支出金	39億4,209万円	37億7,181万円	-4.3
県支 出	15億1,798万円	18億5,289万円	22.1
県財政寄附	3億830万円	2億7,456万円	-10.9
繰入金	1,484万円	1,337万円	-9.9
繰越金	7億9,653万円	2億4,865万円	-68.8
基金	4億8,705万円	3億4,876万円	-28.4
諸収入	13億748万円	12億3,131万円	-5.8
特別収入	54億2,780万円	55億2,260万円	1.7
合 計	392億3,985万円	381億8,359万円	-2.7

特別会計

が減少、山口市スポーツの森第二球場等の整備完了のため、教育費が減少しています。また、中原中也記念館整備の完了のため、商工費も減少。この結果、歳出全体では、前年度に比べて、三・三％の減少になりました。

老人保健特別会計が九千六百二十七万円の赤字となっています。

これは、老人医療諸費の確定後に国・県補助金の不足分が入ってくることによるもので、七年度の歳入から繰り上げて決算しています。

特別会計 歳入歳出決算見込額

会 計 区 分	歳 入	歳 出
国民健康保険	68億1,958万円	61億9,736万円
老人保健	105億4,691万円	106億4,318万円
同和対策基金	1億6,866万円	1億5,654万円
食肉セ	1,760万円	1,760万円
下水道	48億9,421万円	48億9,421万円
土地取得	5,751万円	5,751万円
土駐車	3,750万円	3,723万円
農業集落排水	6億6,166万円	6億5,161万円
特別林野	2,979万円	2,571万円
合 計	232億3,342万円	226億8,095万円

公営事業の状況

会 計 区 分	収 支 額	一般会計からの繰入金	職員数(人)
交水	1億6,058万円	3億107万円	52
通 道	9,311万円	6,138万円	65

歳 出

区 分	平成5年度決算額	平成6年度決算見込額	伸率(%)
議 会	2億9,940万円	3億3,406万円	11.6
総 務	57億5,827万円	48億1,909万円	-16.3
民 生	59億4,455万円	64億7,283万円	8.9
衛 生	31億9,210万円	32億7,535万円	2.6
農 業	8,915万円	2億4,360万円	173.2
林 業	13億7,040万円	18億5,893万円	35.6
水 産	14億8,085万円	12億435万円	-18.7
農 商	62億8,112万円	58億6,609万円	-6.6
土 木	8億9,883万円	9億5,556万円	6.3
防 育	89億5,496万円	77億9,665万円	-12.9
災 害	3億1,443万円	3億578万円	-2.8
復 旧	36億5,703万円	38億5,044万円	5.3
債 償	3億 円	3億 円	0.0
諸 支 出	3億 円	3億 円	0.0
合 計	385億4,109万円	372億8,273万円	-3.3

平成6年度 に実施した 主な事業

生活環境の整備

☆道路の整備 市道御堀平井線、12区管内1号線、由良前須川線、東山通り下矢原線、泉町平川線、一本松朝倉線の用地取得、補償など

☆公園の整備 西馬木領公園、香山公園、木戸公園、河原谷公園、藤尾山公園の整備

☆下水道の整備 朝倉町、赤妻町、大内、平川、大蔵、吉敷地区の整備、合併処理浄化槽設置に対する補助

☆住宅の整備 折本住宅の建設

☆河川の整備 油川の改修
☆ごみ処理対策 リサイクルプラザ建設調査

教育・文化・体育の振興

☆教育施設 大蔵小・興進小・宮野中・川西中の増改築、大蔵中の大規模改造

☆社会教育施設 湯田公民館の新築

☆スポーツ・レクリエーション施設



湯田公民館

決算見込みから見た 市税の行方

市税は総額163億7,216万円で、市の歳入の42.8%を占めています。この市税は、山口市のまちづくりに次のように生かされています。

□道路や公園整備などの土木費	23億5,633万円
□学校、社会教育などの教育費	28億6,222万円
□老人、社会福祉などの民生費	22億9,806万円
□健康づくり、きれいなまちづくりの衛生費	16億8,014万円
□農林水産業費、商工費	10億3,550万円
□生命と財産を守る消防費	5億5,387万円
□議会費、市の管理運営などの総務費	29億4,963万円
□市債の償還などの公債費	22億8,548万円

社会福祉の充実

☆在宅福祉の充実 デイサービス・ショートステイ・ホームヘルプサービスなどの充実、しらすさき会館リフトバス購入
☆児童福祉 留守家庭児童学級の建物新築(平川)

☆商工・観光 中小

労働環境の整備・充実

☆ファミリー・サポートセンターの運営費補助
☆勤労者総合福祉センターの整備事業

産業の振興

☆農業 ため池の整備(仁保、小鯖、嘉川)、農業構造改善事業(カントリーエレベーターの建設)
☆林業・水産業 林道、大平線の開設工事、地蔵峠線の改良、林業構造改善事業(林道工事、林業研修センター用地購入)、山口漁港局部改良(防波堤工事)、山口漁港海岸保全施設整備(護岸工事)



折本住宅

☆企業への融資、中原中記記念館記念事業、中市コミュニティホール建設補助
☆企業誘致 鑄銭司団地の整備、佐山ハビテーション・中小企業団地の調査・整備

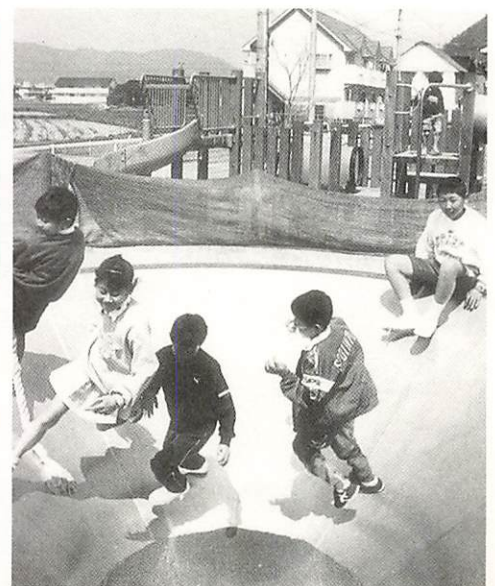
市有財産・市債

市有財産現在高(平成7・3・31)

区分	現在高
土地	276万6,439.42㎡
建物	29万7,192.96㎡
山林	6,461.97ha
立木	81万2,802㎡
有価証券	8,360万円
出資による権利	5億8,388万1,361円
債権	3,104.09㎡
債権	18億7,008万5,005円
基金	89億2,419万3,088円
債権	5,000万円
土地	6,897.35㎡

市債の状況

区分	平成5年度末現在高	平成6年度末現在高
一般会計	306億4,506万円	339億6,142万円
特別会計	179億4,346万円	197億1,877万円
合計	485億8,852万円	536億8,019万円



西馬木領公園

厚生年金・国民年金・簡易生命保険 積立金還元融資事業

平成6年度に厚生年金・国民年金・簡易生命保険の積立金還元融資を受けて実施した事業と、その融資額は次のとおりです。

《厚生年金・国民年金積立金》

- 湯田公民館建設 1億2,090万円
- 平川中学校夜間照明施設の整備 690万円
- ごみ収集車などの購入 2,520万円

《簡易生命保険積立金》

- 折本住宅の建設 5,610万円
- 大蔵小校舎増改築 1億3,520万円
- 興進小校舎増改築 1億4,960万円
- 宮野中校舎増改築 1億8,460万円
- 川西中校舎増改築 1億9,150万円
- 住宅新築資金等貸付事業 950万円
- 公共下水道事業 10億250万円

▽パークロードをきれいに清掃

8月2日、朝早くから山口市連合婦人会員らが美術館前付近のパークロードを清掃しました。市連合婦人会の地区会長と白石婦人会員30人が参加、約一時間汗を流して落ち葉やごみを拾い、見違えるようにきれいになりました。



△カントリーエレベーターが完成

J A山口市が秋穂二島に建設した穀類等共同乾燥調整貯蔵施設(カントリーエレベーター)の完成式が8月1日、関係者約100人が出席して行われました。大型乾燥機と貯蔵倉庫があり、市南部地区の農家を対象に、収穫されたもみを貯蔵、もみすり、精米をし、農家の省力化に大いに役立ちます。

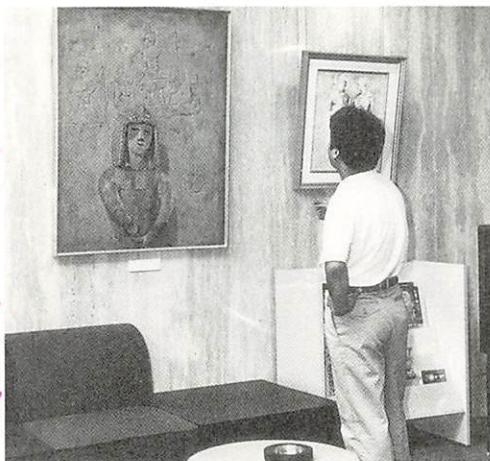


△おみやげは友情 山口・公州ちびっこ交流隊

市内の小学5年生25人が7月30日から8月1日の日程で韓国へ旅立ちました(山口青年会議所主催)。27日の出発式では、平田祥子さんが隊員を代表し、学校の様子や勉強、遊びのことを話し合い、山口に帰ったらみんなに伝えたいとあいさつ。公州市の子どもたちとハイキングをしたり、キャンプファイアーを囲んだりと海を越えて友情を育みます。

▷サンフレッシュギャラリーがオープン

湯田温泉にあるサンフレッシュギャラリーに七月二十六日、ギャラリーが開設されました。オープンを記念し、田口克己さんの「はにわ」など古代シリーズ六点が、九日まで展示されました。ホールの壁面を利用したもので、今後、市内で活動しているグループや個人などに開放します。



児童手当の手続きはお済みですか

■児童手当を受けられる人
3歳未満の児童を養育し、前年の所得が一定額未満の人

■支給金額(月額)

- ・第1子 5,000円
- ・第2子 5,000円
- ・第3子以降 10,000円

■支給方法

2・6・10月の中旬に、前月分までの児童手当(4か月分)が、申請された口座に振り込まれます

■こんなときには早めに手続きを

- ・初めて児童手当を受けようとするとき
- ・現在児童手当を受けている

人で、養育する児童が増え

たとき、少なくなったとき

・他の市町村から転入したとき、または他の市町村へ転出するとき

・児童を養育する人が変わったとき

・児童手当を受けている人が公務員になったとき

・特例給付の受給者が退職したとき

※児童手当の支給は請求された月の翌月分からとなります

■手続き場所 市児童家庭課・各出張所(公務員は勤務先)

■問い合わせ 市児童家庭課 (☎22-4111)へ

「笑顔の写真展」作品募集

デザインミートイニング'95

○テーマ 山口市商店街の自然な笑顔

○参加料 無料

○表彰 10月1日(日)、山口市商店街NAC(中市コミュニティホール)前広場にて行います

※作品は9月29日~10月1日の3日間、同会場に展示します

○作品締切 9月20日(水)必着

○応募方法 はがきに住所・氏名・連絡先・「笑顔の写真募集要項希望」と明記して、山口県デザイン協会

山口・防府支部事務局(小郡町大字上郷2345-1 ☎08397-2-3050)へ

募集コーナー

まなぼうやまぐち'95 生涯学習の作文

- テーマ 私の生涯学習(タイトルは自由)
- 応募資格 市民および山口市にかかわりのある人(何点でも応募可)
- 募集期間 9月14日(木)まで
- 応募方法 原稿用紙(400字)2枚程度にまとめ、氏名・年齢・性別・住所・電話番号を明記して、各公民館または市教育委員会生涯学習課(亀山町2-1 ☎22-4111)へ
- ※最優秀、優秀、佳作の入賞者には記念品を贈り、10月14日(土)の「まなぼうやまぐち'95」で表彰します

『山口商人塾』塾生

- 期間 9月4日(日)～平成8年2月上旬(全12回)
- 内容 先進地・企業の視察、宿泊研修、体験学習、セミナー
- 対象者 原則として50歳以下の市内中小企業(主として商業・サービス業)の経営者、後継者および幹部社員
- 募集人員 40人(先着順)
- 受講料 30,000円(研修費用、宿泊代など一切含む)
- 申し込み 8月25日までに受講料を添えて、山口商工会議所内中小企業相談所 担当/飯田・麻生(中市1-10 ☎25-2300)へ

山口市陸上競技選手権大会

- 期日 9月15日(金・敬老の日)
- 場所 維新公園陸上競技場
- 申込締切 8月28日(月)
- ※種目、参加資格等要項の請求は、返信用封筒を添えて
山口市中園町7-1 県立体育館内
小林幹生(☎22-2129)へ

赤十字家庭看護教室

- 日時 9月5日～10月17日の毎週火曜日、午後2時～4時(全6回)
- 場所 山口赤十字病院西1階会議室
- 募集人員 20人
- 受講料 無料(ただしテキスト代として400円)

- 持参品 筆記用具、エプロン
- 申し込み 往復はがきに住所・氏名・生年月日・電話番号を記入のうえ、8月25日(金)までに日本赤十字社山口県支部(野田172-5 ☎22-0102)へ
- ※申し込み多数の場合は、次回に繰り延べさせていただきます

無料胸部レントゲン検診 (結核検診・肺がん検診)

次のとおり、レントゲン検診車が巡回します。都合のよい場所で受診してください。対象者は15歳以上の市民(学校・職場などで定期検診を受ける人と妊婦は除く)です。

日	時間	場所
仁保地区		
9月4日(月)	9:30～9:50	一貫野集落センター
	10:20～10:30	土井東集会所前
	10:40～11:00	土井池田建設前
	11:10～11:30	高松集会所前
	13:30～13:50	丸山公民館前
	14:10～14:30	深野農協下郷支所前
9月5日(火)	9:30～9:40	金坪袖岡商店前
	10:00～10:10	大島農協上郷支所前
	10:30～10:40	一の瀬山本篤宅前
	11:00～11:10	北河内集会所前
	11:20～11:30	高島藤井保助宅前
	13:30～13:50	野上沖原瓦店横
	14:10～14:30	仁保公民館
小鯖地区		
9月6日(水)	9:30～9:50	1 1 区公民館
	10:10～10:20	1 0 区公会堂
	10:50～11:00	1 5 区公民館
	11:20～11:30	9 区公民館横
	13:30～13:40	6 区重宗健治宅前
	14:00～14:20	7 区公民館横
	14:40～15:00	禪昌寺自治会館横
9月7日(木)	9:10～9:20	1 2 区花和里公会堂
	9:40～10:00	1 3 区公民館
	10:20～10:40	1 区重宗哲美宅前
	11:00～11:20	3 区伊藤醬油店前
	13:30～13:50	4 区伊藤通宅前
	14:10～14:20	2 区重宗敬三宅前
	14:40～15:00	小鯖公民館
大内地区		
9月8日(金)	9:00～9:50	下千坊集会所
	10:10～10:20	姫山台集会所
	10:40～11:00	間田光厳寺前
	11:20～11:30	小京都小京都集会所
	13:30～13:40	小野高橋雄一宅前
	14:00～14:10	菅内団地のぶ美容室前

9月11日(月)	14:30～14:40	菅内仁平寺前
	9:10～9:30	宮島町水道局
	9:50～10:10	御堀みほり学園
	10:30～11:00	水上公民館前
	11:20～11:30	金成団地公会堂前
	13:30～13:50	茅野神田公民館前
	14:10～14:30	中矢田吉野悟宅前
9月12日(火)	9:30～9:50	上矢田公民館前
	10:10～10:30	宮の馬場山口交通(株)駐車場
	10:50～11:00	長野公民館前
	11:20～11:30	大田中忠宅前
	13:30～13:50	上千坊山口ガス機器駐車場
	14:10～14:30	大内公民館
宮野地区		
9月13日(水)	9:10～9:30	江良尾山義明宅前
	9:50～10:10	芝崎町木田タイ尔前
	10:30～10:50	下折本公会堂前
	11:10～11:30	西桜島公会堂前
	13:30～13:50	恋路市河原住集会所前
	14:10～14:30	下恋路河村宗治宅前
	14:50～15:10	第三住宅住宅入口広場
	15:30～15:50	中恋路公会堂前
9月14日(木)	9:10～9:20	石丸公会堂前
	9:40～9:50	泉宮野温泉バス停横
	10:10～10:20	七房原田朋茂宅前
	10:40～11:00	河原新橋バス停横
	11:20～11:30	大山路公会堂前
	13:30～13:50	上恋路青木橋横
	14:10～14:30	上恋路公会堂前
	14:50～15:10	熊坂集会所前
	15:30～16:00	宮野公民館

肺がん検診(かくたん検査)

- 対象 40歳以上の市民
特に①6か月以内に血の混じったたんでた方
②50歳以上でたばこを多く吸われる方
- 料金 400円(70歳以上、生活保護および市民税非課税世帯の人は無料)
- ※他の地区は次号以降に掲載します

編集後記

▽暦の上では、立秋となりましたが、まだ暑い日が続いています。この暑さで体力も弱っています。規則正しい生活など、身体に十分気を付けて、この暑さを乗り切りましょう。

▽財政報告のとおり、昨年度も、限られた財源の中で、市民の皆様が、より快適な生活ができる様、生活に密着した多くの事業が実施されております。事業実施にあたっては、その地域の皆様の協力なくしては推進できません。今後ともより一層のご協力をお願いいたします。

市民無料法律相談

○日時 8月23日(水)午後1時半(1時受付開始)

○場所 白石公民館

○相談内容 日常生活での法律の問題に関すること

○相談員 弁護士

○問い合わせ 市広報広聴課 市民相談室 ☎22-411

※行政相談は、市民相談室、行政監察事務所(☎22-11590)で常時受け付けています。

※ご相談に際しては、詳しい書類(登記、契約書など)を持参してください。

9月の不燃物収集日

1日(金)	嘉川
4日(月)	佐山
5日(火)	陶・鑄銭司
6日(水)	一本松・下金古曾・木町・松の木町・道祖町
7日(木)	名田島・秋穂二島
8日(金)	大殿大路・米屋町・八幡馬場・野田・大市諸願・新馬場・久保小路・太刀亮
11日(月)	西朝倉・西惣太夫・角下市町・熊野
12日(火)	大内
13日(水)	今道・大附・今市・上古熊・古熊・上堅小路・天花・田町・天神通り
14日(木)	平川
18日(月)	泉町・仁保
19日(火)	中市・荒高・前町
20日(水)	上後河原・(上・中・下)清水・中讃井・三和町・西滝・元町
21日(木)	小鯖・新橋・西門前
22日(金)	吉敷
25日(月)	下堅上・東糸米・東白石・元町西・西白石・西糸米・東滝・竜王町
26日(火)	宮野
27日(水)	(上・中・下)道場門前・鰐石・今小路・新天街・新道・新町・新丁・早間田・中河原・下後河原・中後河原
28日(木)	大歳
29日(金)	朝倉中央・東朝倉・東惣太夫・上古古曾

健康コーナー

乳幼児特別クリニック

- 期日 9月4日(月)
- 受付時間 午後1時~2時
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 対象 発育・発達について心配のある乳幼児
- 申し込み 山口環境保健所保健指導班(☎22-5111)へ
- ※予約制になりますので、事前に必ず電話してください

ツベルクリン反応検査 BCG接種

《ツベルクリン反応検査》

- 日時 9月12日(火)午後1時30分~2時30分

《BCG接種》

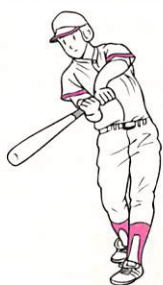
- 日時 9月14日(木)午後1時30分~2時30分
- 場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)
- 対象 生後3か月~4歳未満の者で、BCG接種をまだ受けていない者、再検査者(今回は北部地区の方が対象です)
- 料金 無料(母子健康手帳、体温計持参)
- 申し込み 市健康増進課(市保健センター☎21-2666)へ
- ※予約制になりますので、必ず事前に申し込んでください
- ※以降の接種予定は、7月15日号の市報にまとめて掲載してあります

高血圧予防教室

- 場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)
- 受講料 無料
- 対象・募集人員 基本健康診査の結果、血圧が高いといわれた人や高血圧に関心のある人 30人(3回とも受講可能な方)
- 申し込み 8月31日(木)までに、市健康増進課(市保健センター☎21-2666)へ

回数	日時	内容
1回	9月6日(水) 13:30~15:30	高血圧を語ろう
2回	9月14日(木) 13:30~15:30	済生会山口総合病院 院長 藤井英雄先生 講義 他
3回	9月22日(金) 10:00~14:00	上手に減塩するために 楽しく歩こう

- 組合せ
- ・第1試合 午前9時30分から
西京高校・山口県鴻城高校
- ・第2試合 正午から
山口高校・西京高校
- ・第3試合 午後2時30分から
山口高校・山口県鴻城高校
- 問い合わせ 市教育委員会
体育課(☎22-4111)へ



健康診査

検診種類	場所	対象者	料金	実施期間
基本健康診査	医指	40歳以上の市	600円	9月1日(金)~
大腸がん検診	療	民	300円	
子宮がん検診	機	30歳以上の市	600円	9月29日(金)
乳がん検診	関定	民	400円	

- 受診方法 指定医療機関に直接電話などで申し込み、受診してください。受診の際、事前に送付する受診票(はがき)を必ず持参してください。
- ※指定医療機関など詳しいことは、健康づくりカレンダーでお知らせしています。
- ※70歳以上、生活保護・市民税非課税世帯の人は料金が無料になります。検診時に申し出てください。
- 問い合わせ 市健康増進課(☎21-2666)へ

指定医療機関(子宮がん検診)

医療機関名	検診日	受付時間
上田産婦人科	毎週月~土曜日	15:00~17:00
	木曜日	休診
大橋産婦人科	毎週月~土曜日	午前中
熊谷産婦人科	◇月~土曜日	診療時間内
済生会山口総合病院	◇月~木曜日 (前もって予約を してください)	12:00~13:00 10番窓口
(綜)山口赤十字病院	毎週月・水・金曜日	14:00~15:30
小郡第一総合病院	◇月~土曜日 (第2・4土曜休診)	9:00~11:00
田村産婦人科	毎週月~土曜日	診療時間内
	木曜日	休診
米光産婦人科	毎週月~土曜日	8:30~12:00
	第2・4土曜日	休診

指定医療機関(乳がん検診)

医療機関名	検診日	受付時間
丘病院	毎週月~金曜日	診療時間内
	◇土曜日	午前中
熊谷産婦人科	◇月~土曜日	診療時間内
鴻城医院	◇月~金曜日	診療時間内
	◇火・木・土曜日	午前中
斉藤外科眼科	◇月~土曜日	診療時間内
佐々木外科病院	◇月~土曜日	午前中
柴田病院	◇月~金曜日	診療時間内
	◇土曜日	午前中
田村外科	◇月~土曜日	診療時間内
林外科	◇月~土曜日	診療時間内
	◇木曜日	休診
山口病院	◇月~土曜日	診療時間内
吉永外科	◇月~土曜日 (火・金曜日をのぞく)	午前中
相川医院	毎週月~金曜日	診療時間内
	◇木曜日	午前中
阿知須共立病院	◇月~金曜日	診療時間内
	◇土曜日	午前中
阿知須同仁病院	◇月~土曜日	診療時間内
小郡第一総合病院	◇月~土曜日 (第2・4土曜日をのぞく)	9:00~11:00
小林外科	◇月~土曜日	診療時間内
林病院	◇月~土曜日	診療時間内
	◇木曜日	午前中
三隅外科	◇月~土曜日	診療時間内
村田外科	◇月~土曜日	診療時間内

催し物とお知らせ

障害児(者)のみなさんへ

障害児(者)の方には、次の制度があります。受給資格があっても請求がなければ支給されませんので、該当する方は早めにご相談ください。

◆特別障害者手当

満20歳以上で、障害の状況が著しく重度であり、常時特別の介護を必要とする在宅の方に支給されます。(施設に入所されているとき、入院が3か月以上継続するときは受給できません)

◆障害児福祉手当

満20歳未満の重度の障害児(障害の程度が身体障害者手帳1級・2級の一部、療育手帳Aの一部に該当)に支給されます。(施設に入所しているときは受給できません)
※この二つの手当は、一定の基準の所得を超えているときは受給できません

◆市中心障害児福祉手当

満20歳未満の身体・精神に障害のある児童(障害の程度が身体障害者手帳1級~4級、療育手帳A・Bに該当)を監護している父母・養育者に支給されます。(施設に入所しているときは受給できません)
○問い合わせ 市社会課(☎22-4111)へ

(特別)児童扶養手当の 定時届をお忘れなく

児童扶養手当・特別児童扶養手当を受給されている方は、養育届(児童扶養手当)または所得状況届(特別児童扶養手当)の提出が必要です。この届けを提出されないこと、引き続き手当を受けることができなくなります。忘れずに提出してください。

秋季市長杯争奪 高校野球大会

- 提出先・問い合わせ 市児童家庭課(☎22-4111)へ
- 受付期間 9月8日(金)まで
- 期日 8月30日(水)
- 場所 山口市民球場
- 入場料 無料